

THE BEST ENVIRONMENTAL
CHOICE IN SEAFOOD



認証取得に向けて

—CoC認証—

MSC・CoC認証プロセス実用ガイド



目次

はじめに.....	1
– MSCエコラベルとは？	
– サステナビリティに向けた世界の動き	
基本事項	2
– Chain of Custody (CoC) とは？	
– CoC認証による便益	
– CoC認証が必要となるのは？	
– 特別なケース：グループ認証	
– 審査に係る時間と費用	
ステップ1：始める前に	5
– 何から始めるのか？	
– どこに連絡をすればいい？	
– 認証取得サプライヤーの検索	
ステップ2：審査への準備.....	6
– 審査前のチェックリスト	
ステップ3：認証取得後.....	8
– MSCエコラベルの使用	
– 次のステップ	
– 認証機関との関係	

表紙:小売企業EDEKAのMinden-Hannover店の鮮魚売り場では、水産物のトレーサビリティのためのMSCのCoC認証を取得し、販売する魚介類の供給源はMSC認証を取得した持続可能な漁業のみであることを顧客に保証しています。

© MSC

この文書は承認された英語の原本を翻訳したものです。不明瞭な翻訳による曖昧点や疑問点については、MSCの正式文書である英語版に準拠することとします。MSCの規準とその関連文書に関するすべての事柄についての最終決定権はMSCが有します。

本文書の英語版はMSCウェブサイト:

http://www.msc.org/documents/get-certified/get-certified-chain-of-custody/MSC_Get_Certified_CoC.pdf/viewからダウンロードいただけます。

はじめに



© Vitor José Ramos / MSC

MSC制度によって、取扱い業者は認証された持続可能な漁業からの調達が可能になります。

MSCエコラベルとは？

MSC（海洋管理協議会）のエコラベルは、水産物につけられる世界的に認知されているマークです。この“海のエコラベル”は、すべてのサプライチェーンの段階をたどり、その水産物の供給源である、適切に管理された持続可能な漁業までさかのぼることを可能にします。また、世界の漁業が、その環境に対する責任—持続可能な漁業を行っていること、優れた管理手法を実施していること、そして環境への影響を最小限に抑えていること—を示すことができます。

MSCエコラベルによって、水産物取扱い業者、加工業者、小売業者、外食企業は、購入している水産物が、世界的に認められた持続可能な漁業で獲られたものであることを顧客に保証することができます。これらのビジネスは、持続可能な水産物を取扱い業者や消費者へ供給するとともに、適切に管理された漁業で獲られた水産物の需要喚起を主導する役割を担っています。

MSCは独立して活動する国際的な非営利団体です。私たちの使命は、MSCエコラベルと漁業認証制度を通じて、持続可能な漁業を認知、報奨することにより、消費者の水産物購入時の選択に働きかけ、パートナーと協力して水産物マーケットを持続可能なものへと移行することで、世界の海洋保全に貢献することです。

サステナビリティに向けた世界の動き

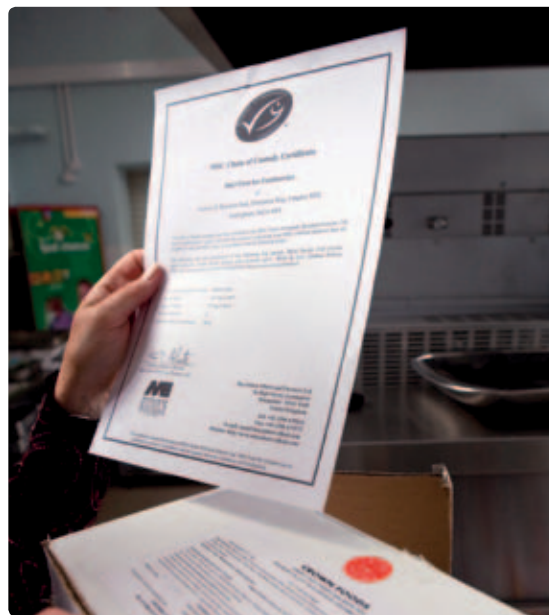
消費者は、過剰な漁獲とそれによって引き起こされる環境面への影響により敏感になっていますが、MSCエコラベルによって、生態学的に持続可能であると公正に審査・認証され、トレーサビリティが確実な水産物を選択することができます。また、MSC認証水産物の供給源はMSC認証を取得した持続可能な漁業のみであることを確実にし、その製品が過剰漁獲による環境問題に関係していないことが顧客に保証されるのです。

2010年度において、認証を取得した持続可能な水産物は80ヶ国で販売され、その市場価値は26億ドルでした。MSCの認証制度に参加する漁業と水産関連企業は年々増えており、その責任ある取組みと倫理的なリーダーシップが、世界の海に変化をもたらすことができることを示しています。

世界中のスーパーマーケット、鮮魚販売店、そしてレストランにおいて、認証された何千もの水産製品にMSCエコラベルが付けられています。それら製品は、www.msc.org/where-to-buyよりご確認ください。

基本事項

水産物のトレーサビリティ確保のためのMSC CoC規準は、MSCのエコラベルが、認証された持続可能な漁業で獲られた水産物のみにつけられることを確実にするためのものです。



商品あるいはメニューにMSCエコラベルの表示を望む場合、CoC認証が必要となります。

© Andrew Aitchison

Chain of Custody (CoC) とは?

CoCにより、消費者と水産物取扱い業者は、購入しようとする水産物が、MSCの“持続可能な漁業のための環境基準”を満たした漁業まで遡ることができるという確信を得られるのです。

最終的に製品にMSCエコラベルを表示するためには、サプライチェーンにある各企業が、独立した第三者認証機関からCoC認証を取得する必要があります。

CoC認証に関するより詳しい情報は、MSCのウェブサイト www.msc.org/about-us/standards/standards/chain-of-custody よりご覧いただけます。

CoC認証による便益

MSCの制度は、適切な管理と持続可能な実践を認知、報奨し、多くの場合、マーケットの拡大や価格プレミアムの向上を伴います。現在、多くの小売企業、レストラン、そして消費者は、その製品が持続可能な供給源から調達されたという保証を求めています— MSC認証はこの保証を提供します

CoC認証によって：

- 持続可能な供給源から調達していることを提示できます
- 持続可能な漁業から調達されたものであることを示すため、水産物製品にMSCエコラベルを表示することができます
- MSC認証でつながるサプライチェーンに入ることにより、新規市場への参入と既存市場の確保が可能になります
- 提供サービスの一部に、第三者により実証されたトレーサビリティ・システムを含めることができます
- MSCウェブサイトにおける仕入先検索ツール‘find a supplier’やMSCラベル付き製品検索ツールを通して、販促や新規顧客の開拓が可能となります。



© MSC / A. Jackson

MSC CoC認証制度は、漁業から食卓までのトレーサビリティを保証します。

CoC認証が必要となるのは？

CoCの制度においては、MSC認証製品を扱うサプライチェーン内のすべての企業—漁業から消費者向け最終製品製造者に至るまで—が有効なMSC CoC認証を取得しなければなりません。

CoC認証が必要な企業の一例：

- MSC認証水産物の販売を望む加工業者と流通業者
- メニューにMSCエコラベルの表示を望むレストラン
- 顧客へのMSC認証製品の販売を望む外食企業への卸売業者
- 鮮魚売場でのMSCエコラベルの表示を望む小売企業や鮮魚販売店

最終包装形態ではないMSC認証製品を購入し販売する場合、その製品をMSC認証のものとして販売するためには、通常、CoC認証が必要となります。

CoC認証が必要かどうかを確認したい場合は、www.msc.org/get-certified/supply-chain/chain-of-custody-faqs をご覧ください。

CoC認証が必要ではない場合

- すでに包装済みの消費者向け製品で、MSCのエコラベルが付けられたものを購入し、開封あるいはラベルの張り替えを行わない場合は、CoC認証は必要ありません。もしこのケースに当てはまると思われる場合には、販売を開始する前に、MSCにご連絡頂き、確認を取ってください。CoC認証が必要でない場合でも、これら製品の販売促進の際には、エコラベルライセンス契約の手続きが必要になります（8ページをご覧ください）
- MSC認証水産物を購入していても、その水産物の販売時や企業・製品の宣伝時に、MSCエコラベル、MSCという名称、あるいはMSC主張文を使用しない場合は、CoC認証は必要ありません。この場合、御社から購入するバイヤーは（そして彼らのバイヤーも）、MSCに言及することはできませんし、その魚介類あるいは製品がMSC認証漁業で獲られたものであることを主張することは商標権侵害にあたる場合があります。



© Andrew Aitchison

特別なケース：グループ認証

グループ認証は、CoC認証における費用の大きな削減につながります。グループに当てはまるのは、複数の生産現場を持つ一つの企業、スーパーマーケットやレストランチェーン、あるいは、個々の企業で構成されたグループ、例えば、自営レストランと鮮魚販売店が提携関係を結び、一緒に認証を受けるなどです。

グループ認証による大きな利点の1つは、いくつかの現場だけがサンプルとして審査されるということで、よって時間と費用が削減されます。グループの管理者に求められる具体的な要件や手引き文書は、www.msc.org/get-certified/supply-chain/group-certificationから入手いただけます。

審査にかかる時間と費用

審査にかかる費用は、業務の複雑さと大きさ、認証機関の単価および諸経費により異なります。認証機関は、審査にかかる時間を推測することは可能ですが、審査に向けた準備が整っている場合は、より迅速に行われるはずで

— 一か所の審査の場合、認証機関はだいたい1日を要します。

— グループ認証の場合、事業内容と地理的状況によりますが、認証機関は、グループの本部に1日から2日を要し、個々の現場で数時間を要します。グループの本部は、必ず審査を受けますが、その他の現場についてはすべてが審査を受けるわけではありません。様々なデータに基づいて、何か所について審査を実施するかを認証機関が決定します。審査を受ける現場の数は、現場数の合計の平方根以上になることはありません（例えば、25の事業所を持つグループの場合、最多で5か所の審査となります）。

認証にかかる費用の検討に際しては、定例の査察審査を受ける必要があることをご留意ください（通常毎年1度）。審査において発生した追加的な支出についての請求や、認証範囲の拡張、認証書の発行などの追加的な認証費用について認証機関に確認することも有効です。

MSCは、審査や認証に関して、いかなる報酬も受けませんし、御社と認証機関との間で交わされる契約を確認する役割を担うこともありません。しかしながら、水産製品にMSCエコーラベルを使用する場合には、ライセンス料をMSCの関連組織であるMarine Stewardship Council International (MSCI) にお支払いいただく必要があります（8ページをご覧ください）。

あなたが選んだ認証機関が、MSC CoC 規準に適合しているかどうかを現地査察により確認します。

ステップ 1：始める前に

認証を取得するためには、独立した認定認証機関によって、CoCの審査が実施されなければなりません。

サプライヤー検索：

www.msc.org/where-to-buy/find-a-supplier

外食先検索：

www.msc.org/where-to-buy/dining-out

持続可能な水産製品検索：

www.msc.org/where-to-buy/product-finder

エコラベル 使用ガイドライン：

www.msc.org/get-certified/use-the-msc-ecolabel/rules

何から始めるのか？

認証機関は、審査を行うために御社を訪れ、御社と御社の従業員が常に以下のことを行っているかを確認します。

- 有効なCoC認証を保有している仕入先からのみMSC認証水産物を購入している
- MSC認証水産物が非認証水産物と分けられている
- MSC認証水産物が明確に識別されている
- MSC認証水産物の入荷、加工、販売のそれぞれの段階で記録・追跡がなされている
- MSC認証水産物にのみMSCエコラベルを付けることが確実に行われている

また、どの魚種をどの認証取得漁業から購入し、そしてどの製品をMSC認証製品として販売したいのかを決める必要があります。これが、御社の「認証範囲」となります。審査前に、対象の水産物（製品）を購入する必要はありません。また、場合によっては、認証審査中の漁業からの製品を認証範囲に含めることも可能です。これにより、漁業が認証を取得した際に製品を販売するための準備を整えることができます。詳しくは認証機関に確認してください。

MSCのオンライン検索ツールにより、MSC認証水産物の仕入先を容易に見つけることができます。

The screenshot displays the MSC online search interface. It is divided into three main sections: 'SIMPLE SEARCH', 'ADVANCED SEARCH', and 'SEARCH RESULTS'.

SIMPLE SEARCH: Includes dropdown menus for Country (United Kingdom), Species (Haddock, Mackerel), Product form (Filets), Storage (Frozen), and Presentation (Block). There is a 'Hide invalid' checkbox checked.

ADVANCED SEARCH: Includes dropdown menus for Fishery, Species (latin name), and Certificate code.

SEARCH RESULTS: A table with columns: Certificate Code, Name, Status, Country, Address, and Sales contact.

Certificate Code	Name	Status	Country	Address	Sales contact
C-FCI-0027	Caley Fisheries Ltd	Valid	United Kingdom	Castle Street, AB42 1EJ, Peterhead	Ian Laine
C-FCI-0021	Densholm Seafoods Ltd - Alexander Buchan Ltd	Valid	United Kingdom	East Quay, AB42 1JF, Peterhead	Robert Duthie +44 (0)1779 477390 robert.duthie@densholm-seafoods.co.uk
C-FCI-0022	IFC Holdings Ltd (Ips-Sea Foods Ltd)	Valid	United Kingdom	Bain Street, AB43 9D7, Fraserburgh	David Cook
IMS-C-1029	Interfish Ltd	Valid	United Kingdom	Walsend Industrial Estate, Cattedown Road, Rymouth, PL4 9RW, Devon	Mark Viebber +44 (0)1752 267261 mark@interfish.co.uk
C-FCI-0023	Lunar Freezing & Cold Store Company Ltd	Valid	United Kingdom	East Quay, AB42 1JF, Peterhead	Simon Banks

どこに連絡をすればいい？

MSCはCoCの審査や認証書の発行を行いません。これらは、独立した認定認証機関によって行われます。認証機関とは長期にわたりビジネス関係を結ぶこととなりますので、その選定は重要です。

- 必ず2社以上の認証機関から見積もりを取るようしてください
- その認証機関と審査員に資格があれば、他の認証—例えば、ISO 9000, IFS あるいはBRC—の審査をまとめて行うことも可能かもしれません。

認定認証機関への連絡先の詳細につきましては、www.msc.org/get-certified/find-a-certifierよりご確認ください。

認証取得サプライヤーの検索

有効なCoC認証を保有している企業のすべては、MSCのオンラインでのサプライヤー検索ディレクトリwww.msc.org/where-to-buy/find-a-supplierのリストに含まれています。この検索ツールを使って、MSC認証を受けた様々な形態や種類の持続可能な水産物を販売する2000近い企業の中から、御社のニーズに合うところを見つけることができます。

MSC認証水産物を販売するには、有効なCoC認証を保有している企業から製品を仕入れなくてはならないことをご留意ください。仕入先は、水産会社もしくは加工業者かもしれませんし、漁業から直接仕入れるかもしれません。すでに取引のあるところである場合もありますが、新規の企業とのビジネスになる場合もあります。

サプライヤー検索では、各認証取得企業の認証範囲が表示されます。御社が必要としている製品が、仕入先の認証範囲にあることをご確認ください。

有効なCoC認証を取得した企業は、自動的にMSCオンラインのサプライヤー検索‘find a supplier’に追加されます。また、小売企業あるいはブランド製品の製造者の場合は、持続可能な水産製品検索ツール‘the sustainable seafood product finder’にも追加されます。

ステップ2：審査への準備

すべての企業はそれぞれ違いがあり、認証機関は各企業の実情に合わせて質問を行い、その企業がMSCのCoC規準に適合しているかどうかを確認します。

以下のチェックリストはほとんどの企業に共通するものですが、認証機関は御社の業務を間近で確認し、より詳細な質問をすることを想定ください。

審査前のチェックリスト

以下は、認証機関が、管理者や関係する現場スタッフに尋ねるであろう質問の要約です。これをチェックリストとして使い、審査への準備を進めてください。

また、認証機関は通常、トレーサビリティ（製品追跡）テストと入出荷照合を無作為に選んだ製品あるいはバッチを使って行います。トレーサビリティテストでは、審査員は、記録を見ながら、製品の搬入から搬出までをたどります（搬出から搬入へ逆することもあります）。入出荷照合においては、認証機関は、MSC認証水産物のサンプルバッチへの搬入時と販売時の重量が、記録された廃棄量を差し引くと同じになることを確認します。

管理システム

- －トレーサビリティをどのように確保するのか、また、各作業の段階で製品をどのように識別するのかを示した手続き・手順がありますか。
- －トレーサビリティとCoCに関する責任は、従業員、ならびに下請け会社等も含める形で明確にされ、また共有されていますか。
- －上記は従業員に理解されており、また履行されていますか。

注文と搬入

- －注文を出す前に、御社の仕入先が有効なCoC認証を保有しているか確かめていますか。購入したい製品が仕入先の認証範囲に含まれているか確かめていますか。また、どのような方法で確かめていますか。それは記録されていますか。
- －注文を出す際、MSC認証水産物についての要求事項を明確にしていますか。
- －MSC認証水産物の各入荷分について、製品名とMSC認証製品として発注したことをはっきり示す形で注文を記録していますか。
- －MSC認証水産物の到着時、従業員はどのようにしてそれらを識別しますか。日付、数量、魚種、仕入先名、CoC認証コード、バッチコード、保管先等はどのように記録されますか。

- －認証機関は、保管されているMSC認証水産物のバッチの記録の提出を例として求めるかもしれませんが。それらを素早く探し出すことができますか。

加工/包装/貯蔵

- －企業内において、どのようにしてMSC認証水産物と非認証水産物が確実に混じらないようにしていますか。
- －MSC認証水産物を受け入れた各バッチがどのように使われたかを示す加工記録がありますか（必要に応じて加工場所と最終製品も含む）。記録はすぐに見つけることができますか。
- －生産量をどのように記録していますか。使用された原料と最終製品の量、ならびに廃棄量の記録はありますか。
- －MSC認証水産物に非認証水産物原料を添加しますか。添加する場合、何パーセントで、またそれはCoC規準と附属文書BDIに適合していますか。
- －在庫商品の明確なリストはありますか。また、それには量と、それが何であるのかの記載がありますか。
- －構内を歩いてみて、例えば、数字上の在庫数と本当の在庫数が合っているかを確認してみてください。MSC製品の加工、包装、貯蔵時に何をしなければならぬか理解していますか。



© MSC / J Simpson

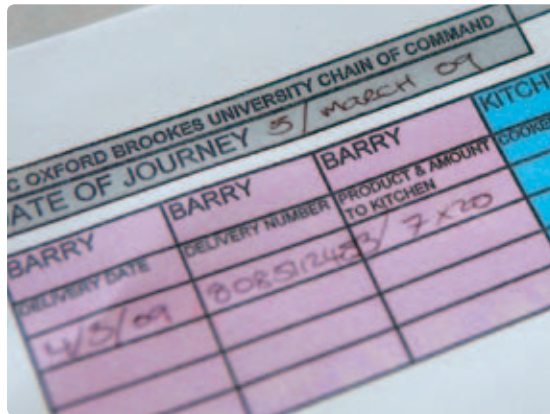
MSC認証水産物をその他の水産物と分け、わかりやすいラベル付けを行うことが、CoC認証における重要事項の一つです。



© MSC / J Simpson

認証機関は、書面もしくは電子で保管されている会社の記録を確認します。どの日時においても、MSC認証水産物の追跡ができることを確認するためです。

© ASI / P Crocombe



製品と包装材の識別

- MSC認証製品を各作業段階でどのように識別していますか。
- 類似の魚種あるいは製品があった場合、明瞭にラベル付けされて分別されていますか。間違った製品を取り出す危険性はないですか。その危険性がある場合、どのようなことが起こりますか。すでにそのようなことが起きたことがありますか。その際、どうされましたか。
- MSCエコラベル付きのパッケージが他のパッケージと混同されないようにどのような措置をとっていますか（措置の例：保管場所を別にする、MSCラベル付きパッケージ専用の保管場所を設けるなど）。
- MSCエコラベルが、MSC認証水産物のみにつけられるようにどのような措置をとっていますか。（実行しうる措置の例：加工作業開始時のラベル管理、あるいは発注したパッケージ数と使用数の比較）
- MSCエコラベル使用ガイドラインの写しを持っていますか（5ページ参照）。また関係する従業員はMSCエコラベルの使用に関する情報をどこで入手できるか知っていますか。

出荷

- 出荷時にトレーサビリティを確保するための措置が取られていますか。どのような情報を製品に記載し、どのような情報を内部書類とシステムに含めていますか。
- 製品名、魚種、重量、顧客も含め、販売したMSC認証水産物の全てのバッチの記録を提示できますか*。



© MSC / J Simpson



© MSC / N Steins

- MSC認証水産物を顧客に販売する際、MSC認証のものであることがわかるよう、どのような措置を取っていますか（パッケージへのMSCエコラベルの表示がある場合とない場合において）。MSC認証製品と関連した御社のCoC認証コードがインボイスに表示されていますか*。
- 販売インボイス上で、各MSC認証製品を識別していますか。それらには、十分なトレーサビリティ情報（例えばバッチ番号）が含まれていますか。
- 最終商品から、どの原料が使用されたかがわかるすべての記録を提示することができますか（トレーサビリティテスト）。
- 原料がどのように使われ、また、どれだけの量が使用されたかを断定できることを提示できますか（入出荷照合）。
- MSC認証水産物として販売した水産物の総量を記録していますか。
- 顧客からMSC認証水産物を受注した際、顧客に供給されるものがMSC認証水産物であることをどのようにして保証しますか。'在庫切れ'の場合にはどうしますか。

記録

- 上記の項目にどのように対応しているかを示すための十分な記録を保有していますか。
- MSC認証製品に関するあらゆるすべての書類を提出することができますか？
- 記録はどのくらいの期間保有されますか（最低3年間の保有が求められます）。

*消費者へ直接販売される場合には必要ありません。

ステップ 3：認証取得後

認証機関によりCoC認証書と固有のCoC認証コードが発行されます。このコードを顧客から求められるかもしれません。

また、認証機関は、御社の仕入先のリストを記録しますが、これが公開されることはありません。認証機関は、MSCのデータベースに、御社の詳細、認証コード、ならびに製品を入力し、これにより、顧客はMSCのサプライヤー検索ツールを通じて御社を見つけることができるようになります。

マーケティング情報と御社のロゴマークを認証機関に提供しておくこと、MSCウェブサイトにおいて、御社への注目度を上げる効果があるかもしれません。さらに、MSCエコラベルの使用を申請する場合には、MSCからも製品についてのより詳細な情報の提供をお願いすることがあります。

MSCエコラベルの使用について

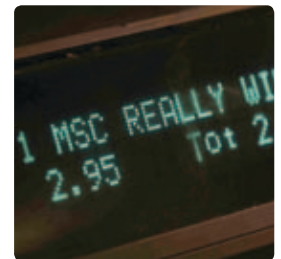
御社の製品、メニュー、販促物（例えば、パンフレット、売り場、レターヘッド、ウェブサイト）にMSCエコラベルを使用するには、MSCの現地事務所、もしくはecolabel@msc.orgまでご連絡ください。御社との契約（ライセンス）手続きをさせていただき、エコラベルのデータをお送りします。MSCエコラベルは、登録商標で、MSCIの許可なしに使用することはできません。MSCでは、審査への準備と並行して、MSCエコラベル使用ライセンスを申請することをお勧めしています。そうすることで、認証取得後すぐにMSCエコラベルの使用が可能となります。

MSCエコラベルの使用目的によって、異なる規則が適用されます。MSCエコラベル使用ガイドライ

ンは、業態に最適なエコラベルの使用方法の確認に役立ちます。また、正しくご使用いただくための規則も定められています（例えば、業務用パッケージへの使用、メニューや製品への使用、販促物への使用、また宣伝文との併用等）。

MSCエコラベルの使用は任意であり、製品への使用においては、年間単位で計算される管理費とロイヤリティ料のMSCIへの支払いが発生します。

MSCエコラベル使用に係る費用については、エコラベル使用ガイドラインに詳細が記されています。ガイドについては、MSCの現地事務所、またはecolabel@msc.orgへご連絡ください。www.msc.org/get-certified/use-the-msc-ecolabel/rulesからでもご入手頂けます。



製品、メニュー、パッケージにMSCエコラベルを使用する場合はライセンス契約が必要です。

© Andrew Aitchison

MSCエコラベル使用料

MSCラベル付き製品の販売額 あるいは購入額	年間商標使用料	販売ロイヤリティ	合計（例）
0-200,000米ドル	250米ドル	0.5%	
例：10,000米ドル	250米ドル	50米ドル	300米ドル
200,000- 500,000米ドル	1,000米ドル	0.5%	
例：400,000米ドル	1,000米ドル	2,000米ドル	3,000米ドル
>500,000米ドル	2,000米ドル	0.5%	
例：1,000,000米ドル	2,000米ドル	5,000米ドル	7,000米ドル



© MSC

MSC エコラベルを使用することになれば、商品の種類を増やしたくなるかもしれません。認証機関がその方法を説明します。

次のステップ

認証を取得し、エコラベル使用ライセンス契約を結び、商品パッケージが承認されたら、いよいよMSC認証製品の販売ですーおめでとうございます。

以下の点に留意してください：

- ー 仕入先が有効なCoC認証を保持しているかを定期的に確認してください（MSCウェブサイトのサプライヤー検索でご確認ください）。
- ー 新しい仕入先との契約時には、あなたが必要とする仕様で供給できるかを見極めるため、その企業の認証範囲をMSCウェブサイトでご確認ください。

CoC認証は3年間有効です。この期間中、認証機関は、御社の管理システムがしっかりと機能しているかを確認するため定期的に訪問します。査察審査と呼ばれるものです。認証有効期間後、CoC認証の継続を望む場合には、更新審査を受けます。

認証機関には、事前連絡なしの審査をいつでも行える権利があります。認証機関の立ち入りの拒否は、認証の保持を危うくすることがあります。

認証機関と連絡を取り続けましょう

認証の有効期間中、あなたは認証機関に対して以下の重要な点について最新の情報を提供する必要があります：

- ー 取り扱うMSC製品の種類を増やす際には、その新たな製品を購入する前に、認証範囲の拡大を認証機関に依頼する必要があります。
- ー 審査時に仕入先を特定していなかった場合、もしくは、新たな仕入先との取引を始める場合に

は、その仕入先からの最初の入荷日から10日以内に、認証機関に仕入先の名前を伝える必要があります。

- ー CoC認証範囲に、審査中の漁業による水産物が含まれている場合、認証機関は、当該漁業が認証を取得した時点で御社に連絡します。さらに、認証機関が、CoC認証の範囲を更新することによって、御社のCoC認証が当該漁業からの製品に対して有効になります。この手続きが完了するまで、この製品をMSC認証のものとして販売することは通常は認められません。これら規定に違反した場合、認証取り消しとなる可能性もあります。しかしながら、この規定にはいくつかの例外がありますので、規定の詳細を説明できる認証機関にご確認ください。
- ー 各査察審査の前に、御社の会社情報を更新し、審査の準備をするために、認証機関から連絡がはいられます。

MSCは、認証制度とそのエコラベルの価値を守るよう努めています。そのため、規準やエコラベルライセンス契約へのいかなる違反も重く受け止めます。違反が起きた場合、MSCは認証の即時停止を要請します。これが、御社のCoC認証取得への投資を保護するための、我々にとっての唯一の方法なのです。

MSCは、新たな漁業や企業が認証を取得することによって絶えず成長しています。MSCのウェブサイトを通じて新しい情報を入手し、新たなビジネスチャンスを見つけてください。



MSC 本部

Marine House
1 Snow Hill
London EC1A 2DH UK
Tel: +44 (0)20 7246 8900
Registered charity: 1066806

MSC ヨーロッパ, アフリカ, 中東地域事務所

Marine House
1 Snow Hill
London EC1A 2DH UK
Tel: +44 (0)20 7246 8900
Registered charity: 1066806

MSC アメリカ地域事務所

2110 North Pacific Street
Suite 102
Seattle WA 98103, USA
Tel: +1 206 691 0188
Non-profit status 501 (c)(3)

MSC アジア太平洋地域事務所

10/46-48 Urunga Parade
Miranda NSW 2228
Australia
Tel: + 61 (0)2 9524 8400
ABN: 69 517 984 605

MSC 北欧事務所

Postal address:
P.O. Box 1113
131 26 Nacka Strand
Sweden
Tel: +46 (0)8 503 872 40

MSC フランス事務所

La Ruche
84 Quai de Jemmapes
75010 Paris
France
Tel: +33 (0)1 70 23 28 11

MSC ドイツ・スイス・ オーストリア事務所

Schwedter Straße 9a
10119 Berlin
Germany
Tel: +49 (0)30 609 8552 0

MSC 日本事務所

〒103-0026
東京都中央区日本橋兜町5-1
MetLife兜町ビル3階
Tel: 03 6861 7515

MSC オランダ事務所

Sweelinckplein 9-11
Unit 18 2517 GK
Den Haag
The Netherlands
Tel: +31 (0)70 360 5979

MSC スコットランド事務所

69 Buchanan Street
Glasgow G1 3HL, UK
Tel: +44 (0) 131 243 2605

MSC 南アフリカ事務所

Postal address:
P.O. Box 7107
Roggebaai 8012
Cape Town
South Africa
Tel: +27 (0)21 551 0620

MSC スペイン・ポルトガル事務所

Génova 4
28004 Madrid
Spain
Tel: +34 674 07 10 54

www.msc.org

info@msc.org

www.msc.org/product-finder

© Marine Stewardship Council, 2011